

講義名	栄養指導論 I
開講学年	2年
講義開講時期	前期
開講曜日・時間	火曜日 2時間目, 3時間目
単位	2

担当教員

奥谷 香

授業の達成目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養教育（指導）の目的と必要性を理解する。 2. 効果的な栄養教育（指導）のための健康・食物摂取状況のアセスメント方法を理解し、媒体・教材を選択する能力を習得する。 3. 食行動の成り立ち、およびその変容の背景を行動科学的観点から理解する。
授業の概要	<p>栄養教育（指導）の目的と必要性を学ぶ。</p> <p>対象者に適切で効果的な栄養教育（指導）を行うため、行動科学理論、アセスメント方法や栄養教育プログラムの作成方法を学ぶ。</p>
授業形式	講義（事例検討, 実践も含む）, パワーポイント（スライド）を使用

授業計画表

回	項目	内容	キーワード・備考
1	栄養教育の概念-1	オリエンテーション 栄養教育の目的・目標	栄養教育とは
2	栄養教育の概念-2	栄養教育の背景と推移 健康教育の歴史	プリシード・プロセス ードモデル, ヘルス プロモーション
3	栄養教育の概念-3	栄養教育の実施にあたって 栄養教育の対象と機会	動機づけ
4	行動科学理論と 栄養教育-1	行動科学とは 代表的な理論やモデル-1	刺激-反応理論 ヘルスビリーフモデル トランスセオレティカ ルモデル
5	行動科学理論と 栄養教育-2	代表的な理論やモデル-2 代表的な行動変容技法や概念 事例検討	合理的行動理論 計画的行動理論 社会的認知理論

6	栄養カウンセリング-1	カウンセリングの基本	共感的理解 無条件の肯定的配慮 純粋さ、傾聴
7	栄養カウンセリング-2	栄養カウンセリングの特徴と基本姿勢 栄養カウンセリングの実際	マイクロカウンセリング
8	食環境づくりと 栄養教育	食環境づくり 組織づくり・地域づくりへの展開	食物へのアクセス 情報へのアクセス 組織・地域づくり
9	栄養教育に活用する基礎知識と教材	食事摂取基準の活用 食事チェック教材 健康・栄養教育教材として活用する指針 健康な食生活管理に活用する知識	日本人の食事摂取基準 食事バランスガイド 指針（食生活、運動など） 食品表示法など
10	栄養教育マネジメント I	栄養マネジメントの枠組み 健康・食物摂取状況のアセスメント	PDCA サイクル 質問紙法 集団・個人面接法
11	栄養教育マネジメント II-1	栄養教育プログラム作成 目標設定の意義と方法 実際の流れ-1	目標の種類とその内容 プログラムの計画 (6W1H1B)
12	栄養教育マネジメント II-2	栄養教育プログラム作成 実際の流れ-2 栄養教育プログラムの実施に必要なスキル	教材の選択と作成 学習形態の選択 講義・討議形式
13	栄養教育マネジメント III	栄養教育の評価 目的、評価のデザイン、種類 測定や手法の信頼性と妥当性	代表的な評価のデザインとその種類 信頼性、妥当性
14	栄養指導論 I のまとめ	単元のポイント（復習）と質疑応答	
15	学期末試験		

事前・事後学習の内容	事前に教科書にて学習内容を確認する。
成績評価の方法	提出物：10% *授業態度：10% 学期末試験：80% *実践の取り組み態度、忘れ物、私語、 unnecessaryな携帯電話の使用など 評価基準は合計 90 点以上：S、85～89 点：A+、80～84 点：A、75～79 点：B+、70～74 点：B、65～69 点：C+、60～64 点：C、59 点以下：D とし、D は不合格とする。 ただし、出席が 2 / 3 未満の場合は評価をせず不合格とする。
教材	栄養教育論：医歯薬出版 適宜、資料、プリントを配布する